



選んだことを正解にする働き方～人生「成功か経験しかない」!

<基本情報> ●設立/1999年(法人設立) ●所在地/霧島市隼人町小浜28(小浜ヴィレッジ内) おばま工務店様 ●従業員数/19人
●お問合せ窓口/TEL:0120-43-4910/0995-64-2351
●HP/おばま工務店 <https://obama-builders.com> 小浜ヴィレッジ <https://obama-village.com>



おばま工務店

- 鹿児島県産材の「木の家」にこだわった家づくり
- 江戸時代から続く事業、現社長兄弟は11代目・11.5代目!



Interview

おばま工務店 取締役会長
株式会社Obama Village 代表取締役
鹿児島スマートパーベキュー協会 会長
ありから たけひろ
有村 健弘さん
ヘインタビュ



錦江湾と桜島を望む小浜ヴィレッジ

業務内容とお仕事に就くまでの経緯は?

元々は江戸時代から山林業、製材業を行っていましたが、10代目の私の父の代から鹿児島島の木を使った家づくりに取り組み、現在11代目になる住宅メーカーです。自分は卒業後、韓国やカナダへの留学を経て、東京のIT企業へ入社しました。そのままIT業界で働くつもりでしたが、入社3年目のとき、父親が倒れたのを機に鹿児島へ戻ることになり、家業を継ぐことになりました。



鹿児島県産材にこだわった家づくりを提案している

本社がある「小浜ヴィレッジ」とは?

住宅業界では、需要が減っていくことは確実と言われていました。そういった近い将来に対応するため、「家を建てなくなるような村を作る」「未来を作る」というコンセプトで小浜ヴィレッジを作りました。霧島市小浜の耕作放棄地だった土地を開発し、おばま工務店の本社をはじめ事務所と

店舗のテナントが入る建物を作りました。既に入居されているテナントもありますが、2024年の春に正式オープン予定です。

これから計画していること、やってみたいことはありますか?

2～3年以内を目標に、ここに「宿」を作りたいと思っています。働くところ、住むところ、遊ぶところが歩ける範囲にまとまっているのが小浜ヴィレッジのコンセプトでもあり、「働く」と「遊ぶ」は既に作ったので、次はここに滞在できる拠点を作りたいですね。

「鹿児島スマートパーベキュー協会」の活動とは?

パーベキュー検定のほか、マルシェなどのイベントに出たり、オリジナルのソースを作ったりなどの活動を行っています。家を建てる人がやりたいことランキングの1位は「パーベキュー」なんですよね。家を建てるだけの仕事ではなく、家を建てたくなるとか、家を建てたあとの生活をイメージしてもらうために、このような活動も大切だと思っています。

鹿児島(始良・伊佐地域)で働く魅力は?

県外の経験が生きるところは良かったと思っています。Uターンを希望していたわけ

ではなかったですが、想定外の状況が生まれたときにどうやってそれを楽しむか、は大切だと思います。魅力は食べ物が美味しいこと、リフレッシュできる場所が近くオン・オフが切り替えやすいこと、でしょうか。温泉がすぐ近くにあるのも魅力的だと思います。

高校生のみなさんへメッセージをお願いします。

自分は中学生の頃から父親に連れられて異業種交流会などに参加していました。その結果、大人に対して怖いと思うことはなくなりましたし、それが現在の仕事にも生きています。高校生みなさんにもいろんな世代の人と仲良くなってほしいですね。正解を選ぶかどうかは大事ですが、「自分が選んだことを正解にする」という観点を持ってほしいと思います。上手いかなかったことも経験になるし、そういう意味では人生「成功か経験しかない」ので。



「楽しさ」を伝えるパーベキューの活動



木材資源を繋ぎ次世代へ届ける仕事

<基本情報> ●設立/2016年 ●所在地/霧島市隼人町松永1211-1 ●従業員数/1人
●お問合せ窓口/TEL 090-9561-7035 ●HP/ https://twitter.com/ikkyu_shinkiri



霧島造林

- 植えた苗が伐採できるまで育つには50年～80年
- 自分で植えた木を伐採まで見ることはほぼ無く、「次世代へバトンをわたす仕事」



Interview

たかはし ひろかず
代表 **高橋 宏和さん**
ヘインタビュ



林業を知ってもらうため、子供向けの情報発信にも注力している

業務内容は?

伐採したあとの山の植え付け、下刈りなどの「再造林」が主な仕事です。今は知覧の山で、伐採業者さんが再造林班を作るということで指導員として入るなどしています。



未経験で飛び込んだ林業と真剣に向き合う

仕事の魅力は?

現場ひとつひとつで達成感があるのが楽しいですね。木材資源をみんなの元へ届けることが林業の役割で、その中に伐採や重機での運搬などいろんな仕事がありますが、人がやりたがらない再造林をやっていることにやりがいを感じます。体力的につらい部分もあって、そこを超えられない人も多いですが、体力的な部分はもう慣れると思います。

気分転換などどうしていますか?

植える、草を刈る、など同じ作業をずっと一人でやるほうが効率が上がりますが、飽きる人も多そうです。自分は仕事のほかにラジオ(霧島市

のコミュニティFMで週に1回の番組を担当)をやっていたり、コロナでしばらくできなかったんですがもう20年くらいバンドをやっていたりして、仕事以外の場を持っているのがいいのかもしれないですね。

今の仕事を選ばきっかけは?

大学進学で鹿児島へ来て、最初は飲食業界で10年くらい働いていました。知り合いから、再造林の仕事は人手不足で、かつ需要は増えると聞いて単純に稼げるのではないかと飛び込んでみたのですが、入ってみたらものすごく奥が深く、一生かけて向き合える仕事だと今は思います。

仕事で大事にしていることは?

今の林業は山の所有者、伐採業者、再造林と関わる人も業種も多く、それぞれの立場でうまく次の工程へ繋げていかなければ山を守ることはできません。再造林で植えた木が伐採できるようになるまでには少なくとも数十年かかります。「自分だけ良ければ」では成立しない仕事なので、他の工程に関わる人のことや、次の世代を担っていく人のことを考えて仕事をするように心がけています。

これからやりたいことは?

職業訓練の一環で林業を取り入れている団体があって、他業種よりも就業率が高いんです。お金を稼げる仕事をやろうと思うと林業はきつい仕事ですが、自分のペースで、自分の好き

なだけ木を切って植えましょう、というやり方なら実は楽しい仕事でもあります。林業は福祉と連携できる可能性がありそうだと考えていて、例えば、なかなか社会に馴染めない人を受け入れていくなどの取り組みも行ってみたいと思っています。

鹿児島(始良・伊佐地域)で働く魅力は?

兵庫県出身ですが都会の雑踏が自分には合わなかったで、霧島市がちょうどいいんです。海・山・川があって、生活には不自由しない施設もあって鹿児島市も近い、福岡も大阪も1時間ちょっとで行ける、この環境が気に入っています。

高校生のみなさんへメッセージをお願いします。

「好きに勝てる努力はない」という言葉が好きです。その仕事を好きになれば努力を努力と思わずにのめりこめるので、普通に努力している人では追いつけないところまで行けます。若いうちはいくらでも失敗していいので、失敗の経験の中から好きなものを見つけていってほしいですね。自分も30歳を超えて林業をはじめていますが、高校生の頃は全くイメージしていませんでした。再造林は数十年先の「未来」を作る仕事



再造林は数十年先の「未来」を作る仕事